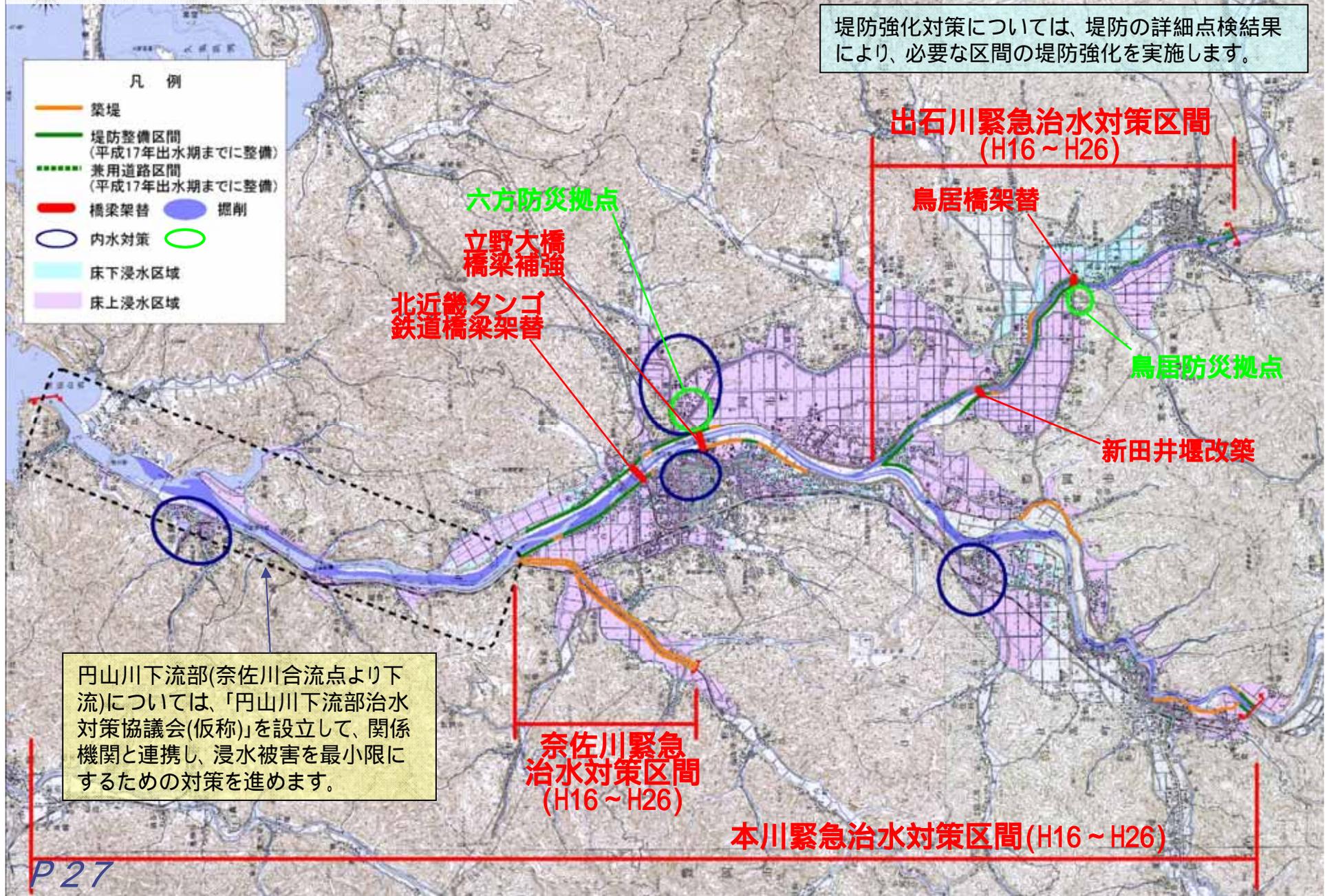
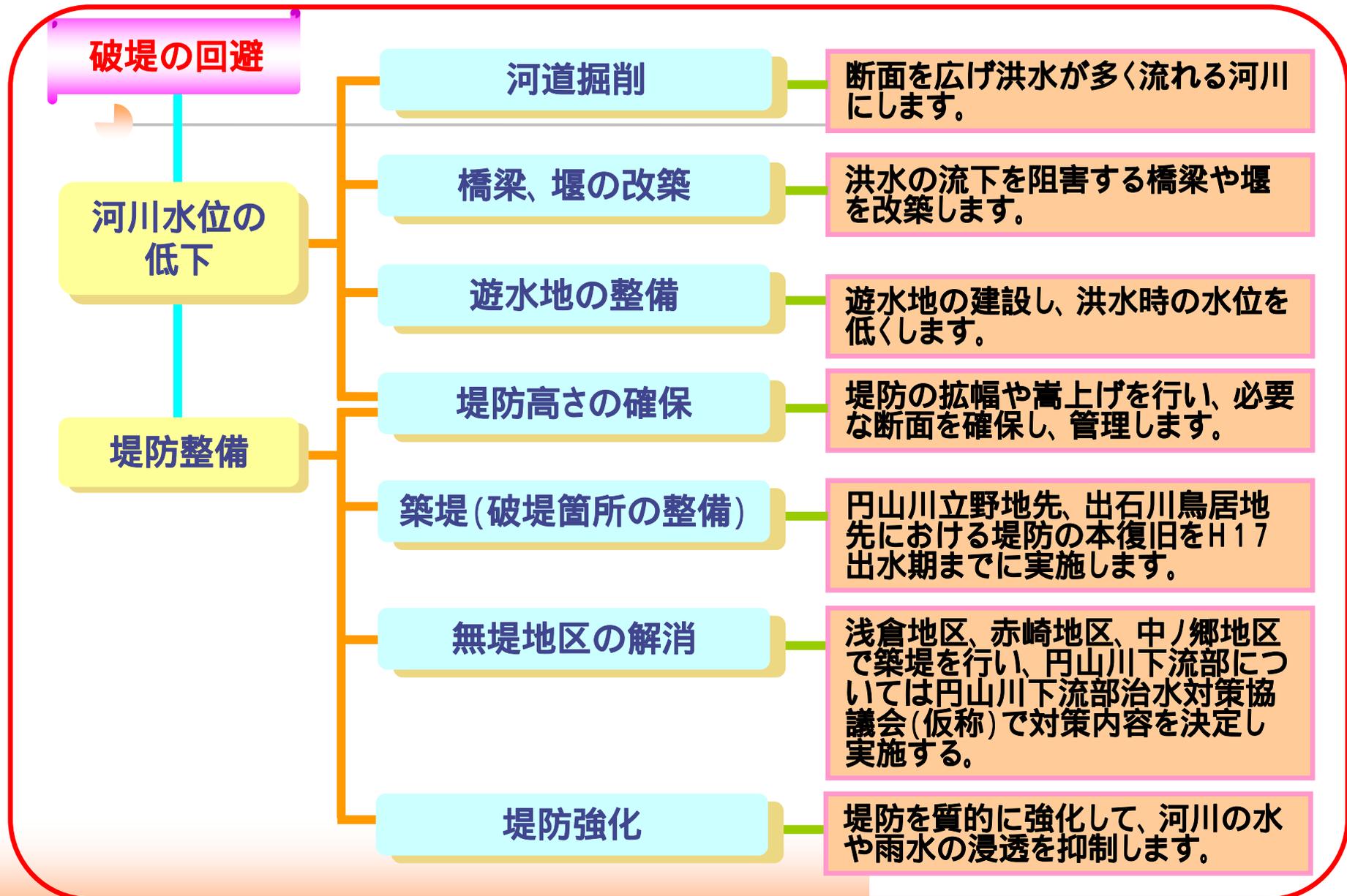


4.2 事業メニュー



4.2 事業メニュー（治水対策基本方針）

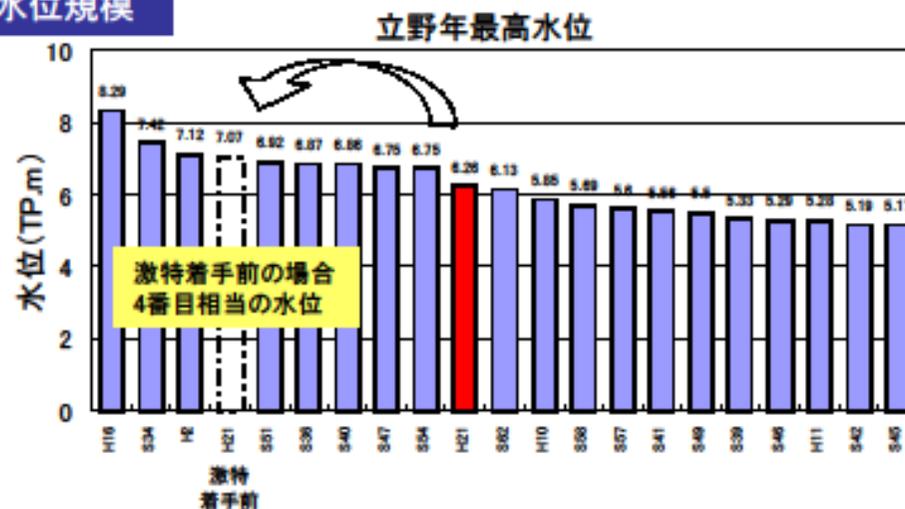


台風9号における激特事業の治水効果発現（過去洪水との比較）

過去洪水との被害状況比較

発生年月	発生原因	流域平均 2日雨量 (mm)	立野地点 観測流量 (m ³ /s)	被害状況	
				浸水戸数 (戸)	浸水面積 (ha)
昭和34年9月26日	伊勢湾台風	253	4,400	16,833	16,926
昭和36年9月16日	第2室戸台風	184	2,600	1,933	2,303
昭和47年7月12日	梅雨前線台風6号	233	2,800	749	1,715
昭和51年9月10日	台風17号	322	2,600	2,855	2,115
昭和54年10月19日	台風20号	211	2,500	610	185
平成2年9月20日	台風19号	364	3,100	2,212	1,923
平成16年10月20日	台風23号	278	4,900	7,944	4,083
平成21年8月9日	台風9号の影響	188 (速報値)	約3,200 (速報値)	48 (家屋)	346

激特事業着手前ケースの水位規模



観測史上3位の流量であつたのに対し比較的被害が小さい

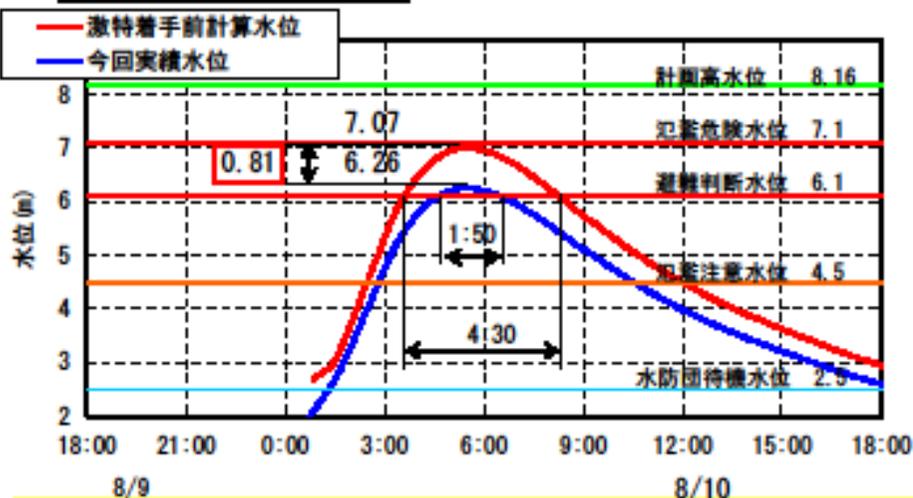


1990年9月台風19号による出水時の
円山川豊岡市江本地先における水防活動

台風9号における激特事業の治水効果発現

激特事業着手前ケースの場合の水位

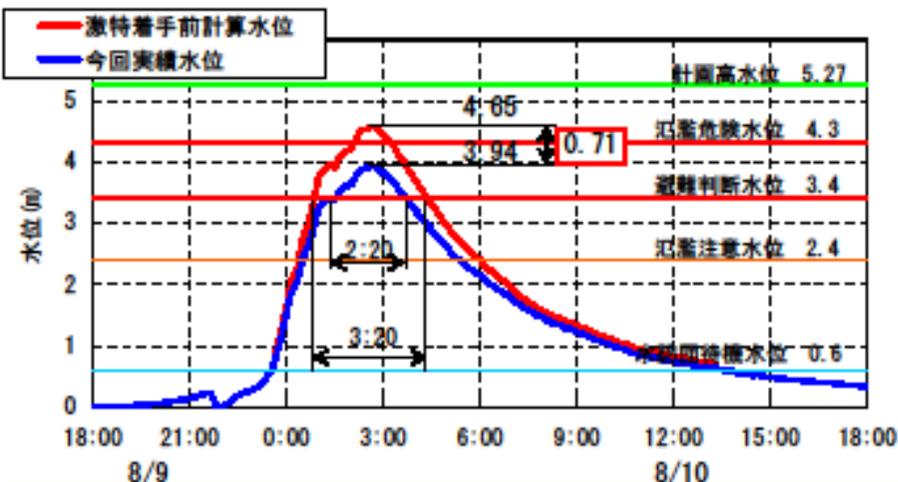
立野観測所(豊岡市街地)



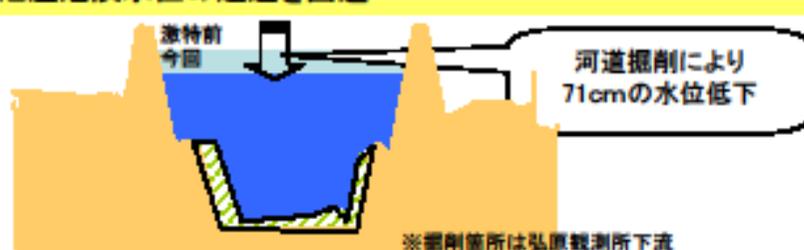
・避難判断水位を上回る時間を約1/3に短縮



弘原観測所(出石市街地)



・避難判断水位を上回る時間を約2/3に短縮
・氾濫危険水位の超過を回避



城崎観測所(円山川下流)

